

平成 19 年度「教育研究支援プロジェクト経費」成果報告書

プロジェクトチームの代表者 部・講座等名 社会系教育

氏 名 立岡裕士

プロジェクトの名称	GISを活かした地理学習 －教材および授業の開発－	配分 予算額	628000 円
プロジェクトの概要	<p>本プロジェクトは、特に中学校社会科（地理的分野）を中心として、現行の教育・学習活動を支援する道具として GIS を利用する方策を具体的に提案するとともに、それに必要な教材を開発することを目的としたものである。</p> <p>教育実践研究において附属中学校から昨年度に引き続き「GISを活かした地理学習」というテーマが提起された（昨年度は電子的な地図の可能性を理解させることを目標とした授業を試みた）。これを受けて今年度は、教師が呈示する資料の作成に GIS を利用するだけでなく、生徒がみずから GIS アプリケーションを操作して、学習対象地域の現状を把握したり諸現象の関係に気づく力を育成することをめざす学習を試みた。</p> <p>本プロジェクトではそのために必要なデータ（統計資料・空中写真など）を授業で利用可能な形に整備するとともに、アプリケーション操作に必要な知識を教示するための教材を作成した。</p>		
成果の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 附属中における実験授業は2006年12月に行った。取り上げたテーマは「過疎化と過疎地の生活」である。 2 このために人口（人口密度・人口増加率・年齢構成・産業別就業者数など）・土地利用などを指標として利用し、そのための資料整備を行った。 3 本授業の成果は 草原・立岡編『GISを活用した社会科授業の開発－地理的分野での活用例－ 鳴門教育大学大学院平成18年度教育実践研究（社会科）地理的分野 研究成果報告書』として作成中である。 4 上記資料は報告書完成後webで公開して一般の利用に供する予定である。 		

- (注) 1. 箇条書き等により簡明に記入すること。
 2. 概要については、800字程度にまとめること。
 3. 研究協力者として院生等が参加している場合、院生等の報告書があれば添付すること。
 4. なるべくパソコン等で作成願います。